

平成29年度取組状況

ものづくり工学科 工学コース (職)助教 (氏名)宮田 航平

取組状況	
教育	<p>①「国語Ⅰ」「日本語表現法Ⅰ」AL教材の開発・授業実践 シラバスに記載した到達目標の達成に向けて、能動的な学習を促すためのワークシートを作成し、個人やペア、グループでの活動を行った。国語に苦手意識を持つ学生でも段階的な理解が得られるよう、発問や助言に工夫を凝らした。またワークシートで学習状況を把握し、学生の理解度を確認することで、適切な課題を設定した。</p> <p>②「国語Ⅰ」漢字確認テスト、口頭発表の実施 毎時間、授業の冒頭で漢字テストを実施し、語句の意味と併せて定着を図った。また1分間スピーチも実施し、従来の「国語」の授業で不足しがちであった「話すこと」についても意識を促すとともに、グループ活動の学習成果を発表する際の指導にも結び付けた。</p>
研究	<p>①「『文学』の在りか——〈3・11〉後から『児童文学』を考えるために」(後藤隆基／編『〈3・11〉後の表現を読む』立教大学日本学研究所、2017年9月)</p> <p>②「あまんきみこと『びわの実学校』—戦後における『童話』をめぐって—」(第4回あまんきみこ研究会、筑紫女学園大学、2017年9月)</p> <p>③「坪田譲治『びわの実学校』」(地域研究ゼミナール、豊島区立中央図書館、2017年12月)</p> <p>④「『豊島区と童話』が受け継ぐもの」(『図書館通信』第47号、2018年1月)</p> <p>⑤「あまんきみこ作品初出一覧①(1965～1974年)」(『あまんきみこ研究会会報』第1号、2018年2月)</p> <p>⑥「『仮説』のために積み重ねたい」(日本児童文学者協会／編『日本児童文学』小峰書店、2018年3月)</p>
社会貢献	<p>①「『児童文学』ってなに?—「読むこと」について考えてみる」(平成29年度第1回研究推進セミナー、2017年6月)</p> <p>②「中学生のための小論文講座」(OPC小中学生対象講座、全4回、2017年8月-9月)</p> <p>③日本児童文学学会(運営委員)</p> <p>④あまんきみこ研究会(会計・会務委員)</p>